

『早稲田大学高等研究所紀要』刊行にあたって

早稲田大学高等研究所は、次代を担う若手研究者の育成と大学の研究教育活動の活性化を目的に、2006年9月に設立されました。これまで約40名の若手研究者を、本学を含む国内外の大学・研究機関等へ送り出し、それぞれ各分野における第一線で活躍しています。

本研究所は、文系・理系を問わず広く世界から若手研究者を公募し、自立的な研究環境に加え、分野が異なる研究者との活発な交流の中で研究を進める点に特徴があります。現在は、人文、社会、自然科学分野を合わせて40名近くの若手研究者が所属し、その柔軟な発想や能力・資質を十分に発揮した研究活動を展開しています。

また、本研究所では、海外のトップクラスの研究者を訪問研究者として受け入れ、若手研究者への助言や学内研究者との交流等を通じて、本学の研究活動の活性化も図っています。今後は、本学専任教員（兼任研究員）を中心とした研究プロジェクトを推進し、本研究所を多様な研究者の連携・協働による学際的で横断的な研究拠点として、本学の研究水準の向上にいつそう貢献していきたいと考えています。

さて、本紀要もこのたび第4号を刊行する運びとなり、日頃ご協力・ご支援をいただいております皆様には、厚く感謝申し上げます。もとより本紀要に所載の論文については、学内外の複数の専門研究者による厳正な査読を課すほか、英文の要旨を必ず付す等、学術誌としての水準の維持向上に努めています。また、冊子での刊行に加え、内容を電子化して本研究所のWebサイトでも公開し、より広く閲覧の便に供しています。

本紀要が、現在所属する若手研究者だけではなく、これまで研究所に所属した研究者（所友）など、研究所に集った多くの研究者が切磋琢磨する研鑽の場となり、かつその成果を早稲田から世界に発信する場になれば、これに勝る喜びはありません。今後とも皆様のご指導とご支援を心よりお願い申し上げます。

2012年3月

早稲田大学高等研究所 所長
宮島 英昭